

市誌編さん事業がスタート!

「高浜市誌 第二巻」の編さんから約40年。今年度から市誌編さん事業がスタート。昨年11月には「市誌編さん委員会」が発足し、編さんの一歩を踏み出しました。

この取り組みのねらいなどを、担当職員や市誌編さん委員の皆さんに聞きました!



市誌編さん委員の皆さん、市長、教育長

□どうして新しい市誌を作る必要があるの?

昭和51年(1976年)に「高浜市誌」が発行されてから約40年が経過。この間、土地区画整理事業などに伴う宅地化の進行、人口の大幅な増加、道路交通網や景観の整備、市民が主体となったまちづくりの推進など、市の状況は大きく変化し、新たな歴史が積み重ねられてきました。しかし、まちのあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々のなかにある記憶を記録にとどめる作業は十分に行われているとはいえ、市民の共有財産である資料などの散逸・消失を防ぐことは大きな課題となっています。

これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりにいかしていくことを目的として、新たな市誌の編さんが始まりました。

□どのような方針で編さんするの?

「市民と共につむぐ・つなぐ」をコンセプトに、人々の暮らしぶりや、市民団体・事業者などが時代のなかで果たしてきた役割についても触れるなど、行政史に偏ることなく、幅広い観点からまとめます。

①市制施行以降のあゆみを重点的にまとめます

- ・「高浜町誌」「高浜市誌」「高浜市誌資料」に収められていない、市制施行[昭和45年(1970年)]以降の高浜市のあゆみを重点的にまとめます。

②まちのあゆみをわかりやすく、活用しやすい形でまとめます

- ・子どもから高齢者まで、幅広い年代の市民が「読んでみたい」「活用したい」と思えるよう、写真や図などのビジュアル資料を多用するとともに、わかりやすく、親しみやすい表現でまとめます。
- ・Web上での公開も意識して、編さんを進めます。

③資料などが散逸・消失しないよう、整理・保存を進めます

- ・まちのあゆみを知ることができる各種資料や、人々の中にあるまちの記憶が失われてしまわないよう、編さん過程で得られた資料などは、今を生きる市民や将来の市民が活用できるよう、体系的な整理・保存を進めます。

④「たかはま大好き」「住んでいるまちをよりよくなりたい」の想いを高めていきます

- ・市の広報誌をとおして情報発信を定期的に行うほか、中間報告会を開催するなど、編さん経過の紹介や成果をお知らせすることで、まちへの興味・関心を高めていきます。
- ・「タカハマ!まるごと宝箱」事業などと連動し、資料の掘りおこしや編集・普及活動を市民の皆さんとともにいき、まちづくりの原動力となるまちへの愛着・誇りの高まりにつなげます。



新しいことを知って楽しい!!

1枚の写真からさまざまな記憶が掘りおこされます。



みなさん、旧高浜港駅舎を憶えていますか?



■編さんのあゆみ—これまでとこれから—

昭和41年5月 (1966年)	高浜町誌 第一巻 発行 (碧海郡高浜町 町村合併60周年)
昭和51年3月 (1976年)	高浜市誌 第二巻 発行 (高浜市 市制施行5周年)
昭和57年 (1982年)	高浜市誌資料 (一)～(八) 発行 
平成元年 (1989年)	
・	
・	
平成28年11月 (2016年)	市誌編さん委員会 発足
平成29年 (2017年)	調査・執筆 
平成31年 (2019年)	
平成32年 (2020年)	新市誌発行! (予定) (高浜市 市制施行50周年)

■市誌編さん委員よりメッセージ



委員長
神谷 純一さん
(高浜市文化財保護委員会 委員長)

「ねえ、高浜市ってどんなまち？」そんな子どもたちの素朴な疑問に答えられるものにしたいですね。残念ながら、毎年の記録が残されていないので市民の皆さんの思い出や写真を集めて、市制50年の記録を中心に編さんを進めたいと思います。「高浜市ってこんなまちなんだ」と見ていただけるものにしたいと願います。皆さまのご協力をよろしくお願ひします。



副委員長
曲田 浩和さん
(日本福祉大学 教授)

『高浜市誌』の発行から40年ですが、その40年間の資料があまり残っていません。今回の市誌編さんでは、これまでの何倍も、何十倍もの資料が集まってくるだろうと思います。それを残していくことも後世にとっては役に立ち、あと50年、100年すると、それが大事な資料になっていくでしょう。そういったことも含めて、皆さんといっしょに、今住んでいる皆さんの気持ちを酌みながらつくってまいりたいと思います。

●まちの情報を募集しています!!●

古い本
持ってます!

昔の高浜の
風景や行事を
写した写真あります!

古い日記が
出てきました!

まちについて語りた方、知りたい方、
市誌編さんに参加しませんか??

写真撮影や、
絵を描くのが
好き!

昔の
高浜について
知ってます!

高浜の産業について
話せます!
(瓦、養鶏、養鰻など)

まちの風景は
どんなふう
に変わってきた
のかな?

どんな
暮らしを
してきた
のかな?



詳しくは、下記問合せ先まで!

◇市誌編さん委員会は傍聴することができます!

次回の市誌編さん委員会は3月に予定しています。

◇市誌編さんや、市誌編さん委員会の詳しい内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページで紹介しています!



問合せ先 団文化スポーツグループ ☎ 52-1111 (内線 331)